

2019年10月11日

各位

LGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」で 最高位「ゴールド」を受賞

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之、以下「当社」）は、このたび、企業・団体等における性的マイノリティ（以下、「LGBT」）に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2019」において、最高位の「ゴールド」を受賞しました。

「PRIDE 指標」は、2016年に日本初の職場におけるLGBTへの取組みの評価指標として、任意団体「work with Pride」が策定しました。この指標は、PRIDEの各文字に合わせて、以下の5つで評価されます。

1. Policy: 行動宣言
2. Representation: 当事者コミュニティ
3. Inspiration: 啓発活動
4. Development: 人事制度、プログラム
5. Engagement/Empowerment: 社会貢献・渉外活動



PRIDE 指標の「ゴールド」表彰マーク

今回の「PRIDE 指標 2019」において、当社は同性パートナーがいる従業員向けの制度の整備を進めたことや、社会貢献・渉外活動が評価され、「ゴールド」を受賞するに至りました。PRIDE 指標の表彰が行われた「work with Pride 2019 カンファレンス」では、当社の取締役 常務執行役員 上野裕明（人事部担当）が「We are Ally!」と経営者宣言しました。



経営者宣言「We are Ally!」

当社の主な取り組み

- コンプライアンスガイドブックに「性的指向・性自認（LGBTを含む）などを理由に不公正な処遇をしません。」と明記し、就業規則に懲戒処分対象になることを明文化（2017）
- 新卒採用エントリー受付時のエントリーシートに性別の選択を廃止（2017）
- LGBTの抱える課題について認識し、当事者を支援しようとする方に ALLY（アライ、LGBTを積極的に支援し、行動する人のこと）のオリジナルステッカーを配布（2018）
- LGBTに対する問い合わせ・相談窓口を設置（2018）
- 同性パートナーがいる従業員向け制度を整備（2019）
- 日本最大級のLGBTイベント「東京レインボープライド2019」のパレード参加（2019）
- 2019年10月に大阪で開催される、関西最大級のLGBTイベント「レインボーフェスタ！2019」への広告協賛およびパレード参加予定（2019）



田辺三菱製薬キャラクターたなみんの ALLY オリジナルステッカー

当社はこれからも LGBT に対する従業員の理解を深め、多様な人材が活躍して、従業員一人ひとりが能力を最大限に発揮できる風土の醸成をめざします。

以上

田辺三菱製薬株式会社 広報部

(お問合せ先) 報道関係者の皆様 TEL : 06-6205-5119
株式市場関係者の皆様 TEL : 06-6205-5110

田辺三菱製薬の概要

田辺三菱製薬は、1678 年に創業、日本の医薬品産業発祥の地である大阪の道修町に本社を置き、医療用医薬品事業を中心とする国内上場企業としては最も歴史ある老舗企業です[※]。「医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します」という企業理念のもと、中期経営計画 16-20 では「Open Up the Future – 医療の未来を切り拓く」をキーコンセプトと決めました。重点疾患領域である「免疫炎症」「糖尿病・腎」「中枢神経」「ワクチン」を中心に、アンメット・メディカル・ニーズに応える医薬品の創製を通じて、世界の患者さんの健康に貢献していきます。<https://www.mt-pharma.co.jp/>

※東京商工リサーチ調べ